

(1) 社会資本総合整備計画の事後評価について

社会資本整備総合交付金は、国土交通省所管の地方公共団体向けの補助金で、平成22年度に創設されました。

地方公共団体自らが目標を設定した「社会資本総合整備計画」を作成して、これに基づき交付金の交付を受けて事業を実施し、自らが整備計画の目標の実現状況、今後の方針等について、交付期間の中間年度及び最終年度終了後において評価を実施する制度となっています。

(2) 事後評価について

今回、下水道に係る「社会資本総合整備計画」は令和2年度～令和5年度までの4年間で策定しており、最終の令和5年度が終了したことから事後評価を実施するものです。

事後評価の結果は、国土交通大臣に報告するとともに市ホームページで公表いたします。

(3) 評価事業対象事業について

【社会資本整備総合交付金事業（社会資本整備総合交付金）】

計画名称：北杜市下水道総合整備事業（防災・安全）

計画期間：令和2年度～令和5年度（4年間）

計画目的：持続可能な事業運営のもと計画的な汚水処理施設の管理を行い、「清らかな水資源の活用と保全」を図る。

○計画

	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間（年度）				事業費 （円）
			R2	R3	R4	R5	
①	北杜市ストックマネジメント（管路施設）	管路施設の点検、調査、設計、長寿命化・更新					58,000,000
②	北杜市ストックマネジメント（処理場）	処理場の点検、調査、設計、長寿命化・更新					172,000,000
			計				230,000,000

○実績

	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間（年度）				事業費 （円）
			R2	R3	R4	R5	
①	北杜市ストックマネジメント（管路施設）	管路施設の点検、調査、設計、長寿命化・更新					42,680,000
②	北杜市ストックマネジメント（処理場）	処理場の点検、調査、設計、長寿命化・更新					58,828,000
			計				101,508,000

ストックマネジメントとは・・・
ストックマネジメントとは「施設管理」のことで、膨大な下水道施設（ストック）の老朽化の進展状況を予測し、優先順位を付けて点検・調査及び修繕・改築を実施し、下水道施設（ストック）を計画的かつ効率的に管理していくものです。

(4) ①北杜市ストックマネジメント（管路施設）の評価

【H27に下水道法が改正され「腐食のおそれの大きい排水施設」については、「5年に1回以上の頻度で点検すること」と規定されました。

本市がこれまで布設した公共下水道の管路延長は約560kmと膨大であり、全ての管路を同じ精度で調査することは難しいことから「重要施設」を設定し、点検・調査していく方針としています。

「重要施設」とは、処理場に直結するような主要な管渠、処理場と防災拠点をつなぐ管渠、緊急輸送路に埋設されている管渠、JRを横断する管渠などとしており、このうちの材質がコンクリートのもの（3,335m）を点検・調査対象としています。

【計画の成果目標】 スtockマネジメント計画に基づく管路施設の点検・調査実施率を4%（R2年度当初）から100%（R5年度末）に増加させる。

【目標の達成状況】 終了目標値100% → **終了実績値99.7%**

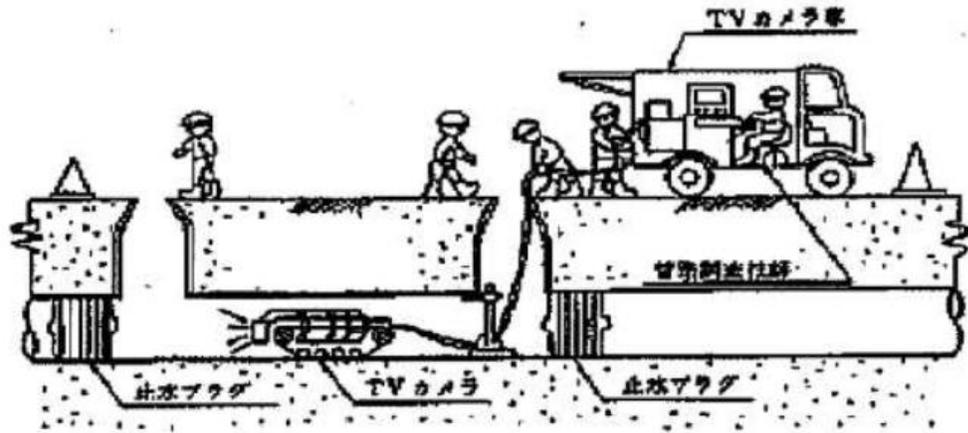


図 4.4 TVカメラ調査状況図



TVカメラ調査状況



(5) ②北杜市ストックマネジメント（処理場）の評価

本市が保有する浄化センターのうち、最も新しい武川浄化センター（H19供用開始）で15年以上供用しており、最も古い施設である小淵沢中部浄化センター（H7供用開始）で25年以上供用し、各所に劣化が確認されています。そのため、早急な調査により設備の健全度の把握が必要なことから点検・調査を実施します。調査単位は、浄化センター単位とし異常や故障に至る前に対策を実施する予防保全のうち、設備の劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じた対策を行う状態監視保全（土木、建築、機械）を対象とします。

【計画の成果目標】 スtockマネジメント計画に基づく処理場設備の調査実施率を0%（R2年度当初）から100%（R5年度末）に増加させる。

【目標の達成状況】 終了目標値100% → **終了実績値100%**



自動除塵機



レーキ歯



主ポンプ



上澄水排出装置